

平成28年度「キャリア教育・就労支援等の充実事業」成果報告書

受託団体名	熊本県教育委員会
-------	----------

I 概要

1 モデル地域の概要

①モデル地域の種類 ※I型、II型、III型のいずれかに○を付してください。

<input type="checkbox"/>	I型（連携型：特別支援学校高等部及び高等学校の連携）
<input checked="" type="checkbox"/>	II型（単独型：特別支援学校高等部のみ）
<input type="checkbox"/>	III型（単独型：高等学校のみ）

②モデル校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名（ふりがなを付すこと）
熊本県	特別支援学校	知的障害	くまもとけんりつおおづしえんがっこう 熊本県立大津支援学校
熊本県	特別支援学校	知的障害	くまもとけんりつ こうとうしえんがっこう 熊本県立ひのくに高等支援学校
熊本県	特別支援学校	肢体不自由 知的障害	くまもとけんりつまつばせしえんがっこう 熊本県立松橋支援学校

2 研究課題

知的障がい特別支援学校高等部において、生徒の多様なニーズに応えるために、関係機関との連携を強化するとともに、技能検定を実施して職業教育を推進する。

3 研究の概要

○関係機関や特別支援学校間の連携の強化

【特別支援学校就労支援ネットワーク会議の実施】

企業関係者、保健・福祉関係者、学識経験者、知事部局関係課の職員、学校関係者、県教育委員会特別支援教育課で、特別支援学校における職業教育、就労支援の充実に係る諸問題について協議を行った。特別支援学校の職業教育、就労支援の現状の確認や他機関が行っている事業に関する情報交換を行った。

【特別支援学校職業教育充実ネットワーク会議の実施】

モデル校を中心に、県北（モデル校を含め4校）、県央（モデル校を含め2校）、県南（モデル校を含め5校）のエリア毎に技能検定の担当が集まり、情報交換を行った。

○技能検定の実施

【技能検定用の指導書及び熊本県特別支援学校清掃技能検定評価表の作成】

平成27年度に実施した技能検定に係る検討会の意見や他県との情報交換、視察等をもとに、清掃技能検定用の指導書、評価表の作成を行った。

#### 【技能検定研修会の実施】

新しい取組（技能検定）を進めるに当たって、熊本県ビルメンテナンス協会の協力の下、各学校で中心となる指導者の養成を行った。

#### 【技能検定講習会の実施】

各エリアに熊本県ビルメンテナンス協会から講師を招き（モデル校3校で各1回実施）、技能検定の取組について講習会を行った。

#### 【熊本県特別支援学校技能検定の実施】

平成29年2月に本県で初めて熊本県特別支援学校技能検定を実施した。

## 4 研究の成果

#### 【就労支援ネットワーク会議の実施】

他機関が把握している、障がいがある方の実習受入先の情報を特別支援学校に送付し、活用することができた。また、企業関係者と特別支援学校に配置しているキャリアサポーターが情報交換を行い、今年度の卒業生の就労につながったケースがあった。また、今年度は4月に起きた熊本地震が、生徒の就労に与える影響についても話し合うことができた。

#### 【特別支援学校職業教育充実ネットワーク会議の実施】

各学校の技能検定に向けた指導の進捗状況や取組内容等について確認することができた。

#### 【技能検定の実施】

(技能検定用の指導書及び熊本県特別支援学校清掃技能検定評価表の作成)

指導書の内容やモデルとなる写真等について、熊本県ビルメンテナンス協会の助言を受ける等外部専門家と連携しながら作成を進めることができた。

(技能検定研修会の実施)

担当者は実技講習を通して、用具の使い方等清掃の基礎について学ぶことができた。また、その後の学校の取組では研修を受けた担当者が中心となって指導を行うことができた。

(技能検定講習会の実施)

生徒は、清掃の専門家に直接指導を受けたことにより、清掃に関する知識や技能を高めるとともにその後の取組に向けて意欲の向上を図ることができた。また、指導者は、日頃の指導の確認を行うことができた。

(熊本県特別支援学校技能検定の実施)

平成29年2月に本県で初めて熊本県特別支援学校技能検定を実施した。評価表に基づき、級の認定を行うことで生徒の自信につながった。

## 5 課題と今後の方策

就労支援ネットワーク会議の中で、関係機関が実施している事業や把握しているデータの提供を受けたが、具体的な活用の部分で課題が残った。会議等で得た情報を特別支援学校間で共有し、活用を図っていきたい。

技能検定の実施に当たっては、熊本地震の影響から、十分な準備ができなかった特別支援学校もあった。また、指導書や評価表の作成やエリア毎の研修実施により、指導方法や内容の共通理解を図ったが、細かい部分での統一は今後の課題となった。今後は、指導書や評価表をより分かりやすく改訂したりする等して、清掃手順等の統一を図るとともに、各学校が取組を共有できる場を設定

し、各学校の取組の充実を図りたい。

各学校で技能検定の取組を進める中で、就労に対する生徒の意欲の向上が見られるとともに、清掃の知識や技能が高まったり、真剣に掃除に取り組む姿が見られたりした。こうした生徒の意欲や頑張りが就職率の向上に結びつくには、企業等への理解啓発が必要であることから、今後は、関係機関との連携の強化を進めていく必要がある。

現在は、熊本県ビルメンテナンス協会の協力を得て清掃検定に取り組んでいるが、幅広く生徒の力を高めていくためには、他の種目にも取組を広げて職業教育の充実を図っていく必要がある。

さらに、今回の技能検定の取組は、各特別支援学校で取り組んでいる教育課程を見直す機会にもなった。今後も各特別支援学校の職業教育の充実が図られるように取組を改善するとともに、教育課程の充実に結びつけたい。

※「障害」のひらがな表記について：熊本県では、平成20年1月から法令、条例、規則や固有名称等を除き、「障がい」のひらがな表記に努めている。